

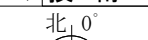
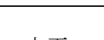
ボーリング柱状図

調 査 名 一般県道猪野土井線地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1			調査位置	福岡市東区土井4丁目地内						北緯	
発注機関	福岡市 道路下水道局 建設部 東部道路課				調査期間	平成 27年 6月 22日 ～ 27年 6月 25日					東経	
調査業者名	株式会社日本ボーリング 電話 (092-404-7575)			主 任 技 術 者	平野 徹		担 当 技 術 者	三原 昌明	コ ー ー ア 鑑 定 者	三原 昌明	ボーリング 責 任 者	田中 茂喜
孔 口 標 高	16.66m	角 	方 	地盤 勾 配 	使用 機種	試 錐 機	吉田鉄工所製 YBM-05型	ハンマー 落下用具	半自動落下式			
総掘進長	6.00m					度	向		エ ン ジ ン	ヤンマー NFD-8K型	ポ ン プ	吉田鉄工所製 GP-5型

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位試験		試料採取			室内試験()	掘進 月日	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果 ()	深 度 (m)	試料 番号			採取 方法
												0 ～ 10	10 ～ 20	20 ～ 30									
1	15.66	1.00	1.00		埋土・砂質粘土	淡緑灰			表層5cmは草根を混入した表土。以深は細～中粒砂を多く混入した粘性土でφ2～50mm大の亜角礫を点在。深度1.0m付近にビニール片を混入。	6/25 3.80	1.15	1	2	2	5/30							6/23	
2					強風化砂岩	黄灰 黄褐 灰			砂岩の強風化層。風化著しく、砂質粘土状。未風化の非常に軟質な細粒砂およびφ2mm大の礫を残存。深度3.5m以深は、固結土状を呈する。	1.45	2	3	3	8/30									
3					風化砂岩	灰			砂岩の風化層。亀裂多く、コア長5～10cm程度の短柱状～岩片状コア主体で採取。亀裂面は酸化し、褐色化。部分的に亀裂発達し、岩片状～粗礫状。	2.15	4	6	9	19/30									
4	12.66	3.00	4.00		風化砂岩					3.15	50			50/10									
5					風化砂岩					4.10	4.20	50/4		50/4									
6	10.66	2.00	6.00							5.00	5.04	50		50/10								6/24	
7										6.05	6.15												
8																							
9																							

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。